

紙による資料配布を少なくし、会議録の配布もCDで行っています。議会採決システムは押しボタン式を導入し、個人ごとの採決結果を中継画面で確認できます。



柏市議会

流山市議会では議会電子採決システムについて調査を行いました。議会において「流山市議会ICT推進基本計画」を策定し、これまで、議員の出欠が見えない、採決結果や議論の経緯がわからないという課題を解決するためにスマートフォン電子採決システムが導入されています。スマートフォンと聞いて最初は抵抗感もありましたが、実際に現物を見て、操作してみると非常に簡単なものであることがわかりました。今後、議員間の無料通話や通知文のメール配信などが実現できれば、利便性は一層高まるでしょう。

また、開かれた議会を目指すという姿勢から、議会報告会の実施など様々な改革にも取り組まれています。



流山市議会

両市議会とともに、議場内に大型モニターが設置されており、インターネット中継の状況も確認でき、より緊張感を持って議会が行われているという感じを受けました。更に、本会議のネット中継はもとより、委員会のインターネット中継、反問権の付与も実施されていました。今回の調査では、より多くの市民が議会について関心を持ってもらいたいという議会改革の意識を強く感じました。また、先進機器の運用についても学ぶことができました。本市と比較して、予算的にもすぐに導入できるというものではありませんが、今後の議会運営には大いに参考となるものでした。



九州地方整備局訪問

4月18日、伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道建設促進協議会の活動として、三市議会の議長及び正副委員長が参加し、4月1日付で就任された国土交通省九州地方整備局長への表敬訪問を行いました。面談の中では、西九州自動車道の進捗状況等について意見交換を行う

## 道路網整備促進 特別委員会

# 特別委員会の動き

とともに、早期完成を要望いたしました。

## 企業対策 特別委員会

4月24日に松浦東高の校舎解体現場の視察を行い、理事者よりこれまでの企業誘致の経緯と動向の概要説明を受けました。景気が回復しない状況の中、委員からは業績が思わしくない進出企業への対応や既存企業の現状を精査することも必要ではないかなどの意見が出されました。理事者からは、今後、県と連携をとって、円高対策等を進めていきたいとのことです。

東部工業団地(仮称)については、現在、開発行為の事前審査が終わり、計画のアウトラインに基づいて県の企業立地課等と最終的な詰めに入っています。調整が済み、開発行為の許可が下り次第、造成工事に着手したいという説明がありました。本委員会としても、理事者と調整を図り